



アマチュアオーケストラ

# 新交響楽団第222回演奏会

The New Symphony Orchestra—222nd Concert

指揮: **山下 一史**

YAMASHITA Kazufumi, conductor

ブラームス

## 交響曲第3番へ長調

Johannes BRAHMS (1833-1897): Symphony No. 3 in F major, op. 90, 1883

R. シュトラウス

## 交響詩「ツァラトゥストラはかく語りき」

Richard STRAUSS (1864-1949): Tone Poem "Also sprach Zarathustra" op. 30, 1896

**2013年7月28日(日) 2:00p.m.開演 東京芸術劇場コンサートホール (池袋駅西口)**

2:00pm, Sunday, July 28, 2013, at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall (Ikebukuro Station, West Exit) 1:00pm開場

入場料 S席: ¥3,000 A席: ¥2,500 B席: ¥1,500 (全席指定)

88ペアチケット(お二人様で合計88歳以上のお客様は合計金額から1,000円を割引させていただきます。下記コンサートイマジンのみ取り扱い)

チケットのお申し込み・お問い合わせ: コンサートイマジン 03(3235)3777

チケットのお申し込み: チケットぴあ: 0570(02)9999 <http://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス: 03(5391)3010 (10:00~19:00)

(PC) <http://www.geigeki.jp/t/> (携帯) <http://www.geigeki/i/t/>

0570で始まる電話番号は、一部携帯電話・PHS・IP電話では受付ができません。

\*点字プログラムを若干部用意しておりますので、ご希望の方は受付でお受け取りください。新響のホームページ<http://www.shinkyo.com>

\*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。託児サービス(予約制)は裏面をご覧ください。

Design: IMAO Keisuke

第222回演奏会は19世紀末期のドイツロマン派の作品をプログラミングしました。今回の2曲は共に映画の名作で使われていることでも有名です。イングリッド・バーグマン主演の「さよならをもう一度」(1961年)ではブラームスの交響曲第3番第3楽章の甘美なメロディがアレンジされて全編で流れ、SF映画「2001年宇宙の旅」(1968年)では「ツァラトゥストラはかく語りき」の冒頭がメインタイトルで鳴り響きます。

### ブラームス：交響曲第3番

ブラームス50歳の時に3番目の交響曲は書かれました。第2交響曲の作曲から6年が経ち、この間イタリアやハンガリーなどを旅行した経験からか、無骨で素朴な第1番・第2番に比べ、より流暢で洗練されています。

また、ベートーヴェンの第3交響曲になぞらえて「ブラームスの英雄交響曲」と呼ばれることもあり、確かに1楽章や4楽章で勇壮な個所はありますが、ロマンティックで哀愁を感じる名曲です。

### R. シュトラウス：「ツァラトゥストラはかく語りき」

この巨匠に対して「ブラームスが創造したものは無能力のメランコリーである」と批判をした哲学者がいました。ニーチェです。ブラームスと同時代に活躍したニーチェは、若い頃から音楽に関心を持ち作曲もしていました。当時ワーグナー派とブラームス派が激しく対立していましたが、彼はワーグナーに心酔していました(後に決裂)。

そのニーチェの主著である「ツァラトゥストラはかく語りき」を題材に交響詩を書いたのがR. シュトラウスです。彼はミュンヘン大学の哲学科で学び、32歳の時に同著に触発されて作曲しました。「ツァラトゥストラ」は、紀元前6世紀頃のゾロアスター教の教祖のことで、ニーチェが自分の思想を語らせています。簡単に言うと、神ではなく今を生きる自分自身を大切にすることということかもしれません。哲学というと難しいですが、R. シュトラウスの巧妙なオーケストレーションで楽しい曲となっています。

どうぞお楽しみに！(H.O.)

### 今後の演奏会予定

#### <第223回演奏会>

2013年10月6日(日) 14時 東京芸術劇場

指揮 矢崎彦太郎 語り 中井美穂

曲目 プーランク/「典型的な動物たち」、「象のババール」

ショーソン/交響曲

#### <第224回演奏会>

2014年1月19日(日) 14時 東京芸術劇場

指揮 湯浅卓雄

#### <第225回演奏会>

2014年4月6日(日) 14時 東京芸術劇場

指揮 曾我大介

### <ワーグナー生誕200年記念コンサート>

2013年9月16日(月祝) 19時 サントリーホール

指揮 飯守泰次郎

独唱 池田香織、清水華澄、大槻孝志、大塚博章

管弦楽 ワーグナー祝祭オーケストラ(アマチュア3団体「新交響楽団」「ザ・シンフォニカ」「東京アカデミッシュ・カペレ」による)

曲目 「神々の黄昏」より「ジークフリートの葬送」「ブリュンヒルデの自己犠牲」、「ワルキューレ」より第1幕全曲

### 新交響楽団のプロフィール

新交響楽団は1956年に創立されたアマチュアオーケストラです。音楽監督・故芥川也寸志の指導のもとに旧ソ連演奏旅行、ストラヴィンスキー・バレエ三部作一挙上演、10年におよぶ日本の交響作品展(1976年にサントリー音楽賞を受賞)、ショスタコーヴィチ交響曲第4番日本初演など意欲的な活動を行ってきました。

またマーラーの交響曲全曲シリーズ(故山田一雄指揮、1979~90)、ベルリン芸術週間への招聘・邦人作品演奏(故石井眞木指揮、1993)、伊福部昭米寿記念演奏会(2002)、石井眞木遺作「幻影と死」完全版初演(高関健指揮、2004)、ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」演奏会形式公演(飯守泰次郎指揮、2006)など、幅広い活動を積極的に展開しています。

### 維持会のご案内 ~良いお席を安く~

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口10,000円で、2年間有効の5枚綴りの回数券(どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能)を差し上げます。良いS席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座：00130-0-28074「新交響楽団維持会」

### 団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧ください。見学・オーディション等のお問い合わせはE-mail:shinky@music.nifty.jp

練習は毎週土曜日午後6時~9時、東京芸術劇場(池袋)、クラシック・スペース☆100(大久保)他にて。

### 演奏会当日の託児サービスのご案内

東京芸術劇場での鑑賞の際には、キッズルームをご利用いただけます。ご利用時間は開演1時間前から終演後30分まで、ご利用料金は~1歳児2,000円、2~6歳児1,000円です。1週間前までにお申込みください。お申込み、お問い合わせ：東京芸術劇場キッズルームミュージズ 電話 03-3981-7003